



ぐんまPTA広報

Gunma Parent Teacher Association Public relations

第116号

令和元年10月1日

発行所

群馬県PTA連合会

前橋市文京町2-20-22

TEL 027-224-2816

http://www.gunma-pta.net/

E-mail info@gunma-pta.net

令和元年度役員名簿

役職	氏名	所属単P
会長	岩村 隆志	前橋・春日中
副会長	高山 英記	伊勢崎・第二中
"	小日向 和博	安中・原市小
"	鹿島 元幸	北群馬・吉岡中
"	高松 徹	太田・生品中
副会長(県P大会)	小熊 政則	沼田・沼田小
常任理事	大津 豊美	渋川・渋川南小
"	高桑 実	教職員代表
"	飯塚 敏雄	教職員代表
"	星野 祝子	前橋・第五中
"	大澤 博史	高崎・第一中
"	中澤 昌樹	沼田・利南東小
"	野村 和彦	館林・第四中
"	清水 あゆみ	高崎・長野郷中
常任理事(県P大会)	萩原 正浩	藤岡・鬼石中
顧問	早川 毅	みどり市

会長挨拶



群馬県PTA連合会 会長 岩村隆志

令和元年度のぐんまPTA広報第一一六号発行を期し、PTA会員の皆さんに感謝し、会長の挨拶をさせていただきます。

会長歴五年度目となる今年度に至り、常日頃から県P連会員の皆さん、役員・理事そして事務局の皆さんに支えられながら新たな元



来賓祝辞 (笠原県教育長代理 福田生涯学習課長)

令和の幕開け 初の定期総会開催

群馬県PTA連合会 常任理事 星野祝子

令和元年度群馬県PTA連合会定期総会が生涯学習センター多目的ホールにて開催されました。

平成最後のPTA活動の素晴らしい実りとして、三十五団体、三十七人の個人表彰が行われました。各学校、そして個々の方々の活動が大きくなるとなり、平成の時代を良い活動として終えることができました。

群馬県PTA連合会では活動目標として「子どもたちのたくましく生きる力をはぐくむために自ら学ぶPTA活動をしよう」を掲げ、家庭・学校・地域で協働・共有に努めていきます。総会の中で、群馬県教育委員会生涯学習課社会教育主事 大澤令子氏からの行政説明では家庭教育応援条例が平成二十八年から施行され、社会全体で家庭教育を支える制度が整っており、家庭を取り巻く学校・

号、年度を迎え心機一転に努めてまいります。また今年度は、関東ブロック協議会の各会長内でも古株の会長となりながら、その経験を活かしながら協議会の会議に臨んでおります。

昭和二十四年十二月に県内十二郡市で発足した「群馬県PTA連合協議会」に始まり、PTA連は「群馬県小中学校PTA連合会」を経て現在の「群馬県PTA連合会」と改称されて、県内十九郡市(七郡十二市)の各PTA連合会・連絡協議会が構成され、連絡協議会での協働・連携により、立七十年を迎えます。

県P連では、役員会・理事会(主に各郡市協議会長にて理事構成)、各専門委員会等を組織し、連合会の企画運営を協議し、年四回開催される理事会に諮りながら定期総会で承認いただいた活動方針のもと事業を推進しております。

群馬県教育委員会は今年度、「第三期教育振興基本計画」を策定し、基本目標に「たくましく生きる力をはぐくむ自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う」を掲げ、子育て支援を通じた家庭教育の連携・協働による地域の活性化を重視しています。

県P連はそれを踏まえた、子どもたちの「心の教育」これを支える「家庭教育力」「地域の教育力」のより一層の向上を図れるよう、会員皆さんのご意見に耳を傾けながら推進していきたく思います。

皆さんの単位PTAにおいて、会長さんや役員を中

心には家庭・学校・地域と連携・協働できるように各々の地域性や特徴を生かし、子どもたちの安全安心の確保や健全育成を中心に活動が推進されていると思えます。

県P連では、スケールメリットを活かして会員皆さんへより良い情報提供を行い、様々な社会情勢変動を受けて変わりつつある教育情勢の中で行われる単Pの活動が円滑に、そして活性化へ向け運営できるように心がけ、県P連の事業や活動を行ってまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第33回 PTA広報紙コンクール 優秀賞

■小学校の部

郡市	PTA名	広報紙名
前橋市	敷島小学校PTA	しきしま
前橋市	群馬大学附属小学校PTA	山びこ新聞
伊勢崎市	広瀬小学校PTA	ひろせ
高崎市	城東小学校PTA	城東
高崎市	京ヶ島小学校PTA	PTA本部だより
太田市	沢野中央小学校PTA	さわ風

■中学校の部

郡市	PTA名	広報紙名
前橋市	第五中学校PTA	五中PTA新聞
前橋市	大胡中学校PTA	栴檀
前橋市	群馬大学附属特別支援学校PTA	あすなる新聞
太田市	毛里田中学校PTA	かたくり

群馬県小中学生 総合保障制度のご案内 (こども総合保険)

本制度の概要は県Pホームページをご覧ください。 <http://www.gunma-pta.net/>

お問い合わせ先

- ◆ご契約の内容照会・変更のお手続きなどは…◆
取扱代理店: 株式会社 アイ・エス・オー
〒370-0852 高崎市巾着町4-22-9 LSビル203
☎ 027-386-2600
【受付時間: 月～金 AM10:00～PM6:00】
- ◆事故の受付・保険金のご請求などについては…◆
事故受付窓口: 東京海上日動火災保険株式会社
(フリーダイヤル)0120-119-110
【受付時間: 365日 24時間】

第64回 群馬県PTA大会沼田大会

日時 令和元年11月30日(土) 12:40～16:20 (受付12:00～)

会場 利根沼田文化会館

スローガン 未来に向かって逞しく羽ばたけ ～自己肯定感を育む家庭教育～

講演会 演題 「家庭・学校・地域のトライアングルで子育てをしよう」
講師 千葉敬愛短期大学学長 千葉大学名誉教授 明石 要一 先生

令和元年度家庭教育研究集会のご案内

目的 子どもたちの心と体の健やかな成長のために、保護者・教職員が一堂に会し、情報交換、研究協議を行う。

日時 令和元年11月1日(金) 12:20～

会場 群馬県生涯学習センター 多目的ホール 他

参加者 各郡市より約300名のPTA会員 県教委伝達

分散会 講演: コミュニケーション 講師: 佐藤 文昭 先生
テーマ別の5分散会
①食育 ②体力づくり ③セーフネット ④いじめ ⑤生活習慣



群馬県から参加した人たち

『第六十七回 日本PTA全国研究大会 兵庫大会に参加して』

群馬県PTA連合会副会長・広報委員長 高山英記

長い梅雨が明け、猛暑も一段落した八月二十三日、兵庫大会が開幕しました。

一九九五年に起こった阪神淡路大震災から二十四年、日本は数々の天災に見舞われ、今回の兵庫大会は、前々年の仙台大大会、前年の新潟大会から引き継ぎ、大災害に見舞われた地域でのパトントリーとなりました。

大会初日は、兵庫県内十会場に分かれての分科会の開催です。私は姫路市にて開催された第六分科会「防災教育」に参加させていただきました。

大災害を経験した地域だからこそ、意識をより高めるために、風化させないために、家庭や地域で取り組む防災、次世代につなげる防災教育を多方面から学びました。実践発表ではこんな質問を投げかけられました。

「家族がどこかで震災にあったら、待ち合わせをする場所を決めていますか? またここ一、二年、家族で災害の対応を話し合った事がありますか?」との質問でした。

姫路市内の小中学校では、41%の家庭で話をされているそうです。果たして群馬県内ではどうでしょうか。災害が発生する事を前提として、どんな事に気を付けるか、ご家庭で話しあってみてはいかがでしょうか。

大会二日目は全国より八千人のPTA会員が、神戸ワールドホールに集いました。

宝塚歌劇団OGの華やかなレビュー、歓迎アトラクションで開幕し、引き続き記念講演では「メンタリス・Dario氏」をお迎えし、いろんな視点から、発想や考え方があるといふ事、子育てにも生かせる知恵を学びました。

兵庫大会も多くのことを学ばせていただき、大会を通じて、ここで学んだことで、全国に持ち帰り、さらなる充

実した活動が出来る事を期待しています。来年の八月は東海・北陸ブロックが担当する富山大会が開催予定です。



高崎市

第一中学校

香り豊かな一杯のコーヒーで日ごろの疲れを癒す

第一中学校は、明治三十一年に設置された群馬県立高崎中学校（現在の高崎高校）の移転後、昭和十四年に高崎高等小学校として開校し、昭和二十七年に現在の高崎市立第一中学校となりました。



分量や温度などのポイントをしっかりと学ぶ参加者

昭和六十二年の市内中学校の校名変更の際にもナンバースクールとして、唯一名前を変えなかった存続され、今年で六十八年を迎えます。

今回のPTAセミナーでは、より美味しくコーヒーを楽しむ、豊かな生活を送るための「コーヒー教室」を開催しました。

教室では一杯のコーヒーに出会うまでの行程を説明していただきました。

同じ豆でも、焙煎の仕方や挽き方、抽出温度などによってまったく違う味になることを、実際に自分で淹れて体験しました。

体験を通して「コーヒーはとても繊細な飲み物だということを知りました。自分の嗜好に合うコーヒーに出会うために、時間にゆとりをもつて手間をかけることは、子育てにも通じる場所があると思いました。忙しい子育ての合間に、ホッとひと息つくことができました。

よう、学校・保護者・行政が協力し、開校に向けた準備に取り組んでいるところです。

PTAにおいても三校の足並みを揃えながら、新しい学校とそこで学ぶ子どもたちに保護者がどのように関わっていくべきか、新しい組織づくりを進めています。

小中が統合する今回の義務教育学校化は、子どもたちにとって環境の変化などによる戸惑いが予想されます。そこで、三校で連携し、地元NPO「ワイeldon」を招き、PTA「ワイeldon」を招き、スポーツを通じて事前に交流する機会を設けました。開始当初は学校ごとに固まっていた子どもたちも次第に打ち解け、楽しそうに活動する様子からは、義務教育学校となった後の学校生活を垣間見ることができ、子どもたちだけでなく先生や保護者にとっても有意義な事業となりました。

少子化や人口減少が進行し、学校や子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。変化する教育環境の中でも子どもたちが健やかに育つよう、これからも学校をサポートしていければと思います。



交流イベントの様子

本校は、令和三年度から群馬県初の「義務教育学校」となる予定です。義務教育学校は、平成二十八年四月より小中一貫教育を行う新たな学校の制度としてスタートしました。韮川西小学校、太田東小学校及び北中学校の三校が一つの施設の中で、九つの学年を子どもたちの成長段階に応じて区切り学ぶことになりました。現在は、より良い教育環境を子どもたちに提供できる



前橋市

一ノ宮小学校

子どもを中心とした地域の輪

一ノ宮小学校は、富岡の中心部から西へ三キロ、一番はじめは「一ノ宮」といわれ、市の始まりとされる上野一ノ宮に位置します。本殿が、国の重要文化財となっており、前神社の門前町として発達してきました。

本PTAは、本部のほか、地区、研修、厚生、校外指導、広報の五つの委員会から組織され、様々な活動に取り組んでいます。

地区懇談会は、夏休み前に地区懇談会を開催しました。地域の方々と一緒に、いろいろな立場から、話し合いをしました。研修委員会は、エアロビックスの講師をお招きし、参加型セミナーを開催しました。厚生委員会は、年に一回資源回収を行っています。活動による収益金は、子どもたちの教育活動の一部となります。郊外指導委員会は、地区ごとの旗振り当番表の作成

登校前の編成、夏休み中のPTA監視を行います。子どもたちを見守っています。広報委員会は、PTA会報「ひたまり」を年二回発行して、様々な情報をお知らせしています。

子どもたちは、多くの人の触れ合い・関わり合いの中で自らの生き方を学び成長しています。そのためにも、子どもたちを中心とした地域の輪を大切に中心とした地域活動を送ってまいります。高山中学校のPTA活動の取り組みの中で、毎年八月に行っている資源回収があります。生徒が各家庭・地域住民にお願いし、新聞・雑誌・ビン・缶・段ボールなどをため置きしていただき、指定日に親子で回収します。回収した資源は、学校で子どもたち自らで分別し、回収業者のトラックへの積込まで行います。買い取っていただいた収益金は生徒会活動費として大切に使用しております。

また、今年度より中学校の敷地内にプレハブ物置を設置し、資源回収ステーションとして通年運用を開始し、生徒



親子でエアロビクスを楽しみました



吾妻郡

高山中学校

地域・生徒と共に

高山村は県内北西部に位置し、南北には千メートル級の山々が連なり、自然豊かで、温泉やきれいな星空が自慢の小さな村です。この地域で素直に育った子どもたちは、元気いっぱい日々の学校生活を送っております。高山中学校のPTA活動の取り組みの中で、毎年八月に行っている資源回収があります。生徒が各家庭・地域住民にお願いし、新聞・雑誌・ビン・缶・段ボールなどをため置きしていただき、指定日に親子で回収します。回収した資源は、学校で子どもたち自らで分別し、回収業者のトラックへの積込まで行います。買い取っていただいた収益金は生徒会活動費として大切に使用しております。

また、今年度より中学校の敷地内にプレハブ物置を設置し、資源回収ステーションとして通年運用を開始し、生徒

の送迎等で来校した保護者に活用していただいております。四月からの四ヶ月の運用で二トンの資源が集まっており、こちらも一斉回収同様に買い取っていただき、生徒会活動費として活用しております。このような活動で地域住民の方々と交流も取れていると思えます。そして、何より自分たちが汗を流して活動し、得た資金で物品を購入することも、その物品を大切にすることも、自然と子どもたちに身に付くと思えます。

これからも学校と連携し、子どもたちの健全育成に取り組みしていきたいと思えます。



集まった資源を分別する子どもたち



前橋市

山王小学校

地域に育まれて

山王小学校は、北関東自動車道前橋南インターチェンジから十分圏内、前橋南部に位置し、昨年度、創立四十周年を迎えた学校です。周囲を広くした田園に囲まれ、校舎からは上毛三山（北に赤城山、北西に榛名山、西に妙義山）を眺めることができ、豊かな環境に恵まれた立地にあります。現在は、四百七十一名の児童が、JRCの態度目標である「気づき・考え・実行する」をモットーに、毎日明るく活発に学校生活を送っています。

PTA活動は、本部・広報部・保健体育部・校外生活部・支部・学年部の六つの部で、百二名の役員の方々が中心になって主体的に活動を行っています。また、PTA以外にも、読み聞かせや登下校時の安全見守り隊、寺子屋といった様々なボランティアには、地域の方々がたくさん協

力を頂いています。まさに創立以来、地域に育まれてきた山王小学校です。

活動の中では、平成十二年度からスタートし、毎年十月に行われ、今年度二十回目を迎える「山王小ふれあいまつり」があります。本部を含めたPTA役員・ボランティア・自治会長の皆様、クラブチーム等が様々なブースを構え、子どもたちのためにその日は、校庭や体育館が緑の日会場となり子どもたちの笑顔が溢れる場となります。準備から実施までは大変ですが、子どもたちの笑顔が素晴らしいと思えます。



昔遊びを楽しむ子どもたち



太田市

韮川西小学校

県内初の義務教育学校に向けて

本校は、令和三年度から群馬県初の「義務教育学校」となる予定です。義務教育学校は、平成二十八年四月より小中一貫教育を行う新たな学校の制度としてスタートしました。韮川西小学校、太田東小学校及び北中学校の三校が一つの施設の中で、九つの学年を子どもたちの成長段階に応じて区切り学ぶことになりました。現在は、より良い教育環境を子どもたちに提供できる

鬼石中学校は、藤岡市の西端に位置し多野郡神流町、埼玉県児玉郡 秩父市と接しています。ここ数年生徒数が減少し、今年度は九三名の生徒が「歌う鬼中」「走る鬼中」を合い言葉に元気に活動しています。

PTA活動も会員数減少のため昨年度に組織を大きく変更し、生徒の活動を支えています。藤岡市では、小中一貫教育に取り組んでいて、本校は、地区の小学校二校と共に鬼石連携型小中一貫校として活動しています。藤岡市が取り組むコミュニティ・スクールの推進を図るために、今年度発足した地域学校協働本部の活動に協力することで今後のPTA活動を活性化していくと考えています。

大きな活動としては、環境整備作業と校内マラソン、立志マラソンの補助があります。環境整備作業では、生徒教職員と共に校舎内の整備、校庭の除草だけでなく、校外の地域の清掃を行っています。



藤岡市

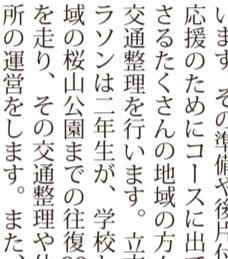
鬼石中学校

すべては子どもたちのために

鬼石中学校は、藤岡市の西端に位置し多野郡神流町、埼玉県児玉郡 秩父市と接しています。ここ数年生徒数が減少し、今年度は九三名の生徒が「歌う鬼中」「走る鬼中」を合い言葉に元気に活動しています。

PTA活動も会員数減少のため昨年度に組織を大きく変更し、生徒の活動を支えています。藤岡市では、小中一貫教育に取り組んでいて、本校は、地区の小学校二校と共に鬼石連携型小中一貫校として活動しています。藤岡市が取り組むコミュニティ・スクールの推進を図るために、今年度発足した地域学校協働本部の活動に協力することで今後のPTA活動を活性化していくと考えています。

大きな活動としては、環境整備作業と校内マラソン、立志マラソンの補助があります。環境整備作業では、生徒教職員と共に校舎内の整備、校庭の除草だけでなく、校外の地域の清掃を行っています。



環境整備作業



渋川市

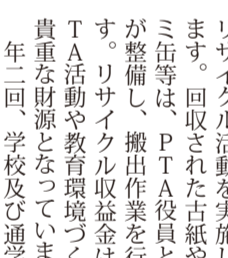
小野上小学校

学校・家庭・地域が一体となって

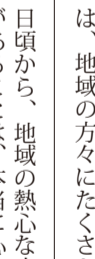
小野上小学校は、小野子山の麓に位置し、吾妻川のせせらぎが聞こえる豊かな自然環境の中、子どもたちは毎日の学校生活を明るく元気に過ごしています。令和元年度の全校児童は三十六名と小規模校ではあります。地域と一体となって「一人ひとりの子どもが輝く」教育活動を展開しています。

小野上小学校の主なPTA活動を紹介します。月一回、地域の皆様のご協力により、リサイクル活動を実施しています。回収された古紙やアルミ缶等は、PTA役員と児童が整備し、搬出作業を行います。リサイクル収益金は、PTA活動や教育環境づくりの貴重な財源となっています。

年二回、学校及び通学路の整備を行っています。特に、八月実施の際には、児童・保護者の他、地域の方も一緒に作業して下さっています。



集まった資源を分別する子どもたち

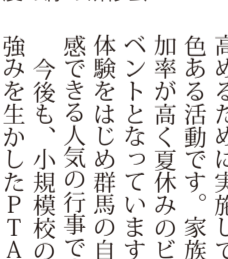


利根郡

古馬牧小学校

繋がりを大切に

本校は、奥利根の玄関口に位置する、自然に囲まれた緑豊かな学校です。校庭からの景色は、春の桃色の桜、夏の青々と輝く山々、秋風に揺れる黄金の稲穂、はらはらと舞う白雪と、四季折々の色を楽しめます。そんな環境の中で、私たち古馬牧小学校では、春季と秋季に地区別懇談会及びPTA奉仕作業を行っています。懇談会では、毎回話し合



グラウンドの側溝清掃



編集後記

十二月十四日に高崎市文化会館で開催する高崎市PTA連合会の研究大会では、令和時代に対応したPTAのあり方を考えます。三万人の保護者に対して実施したアンケートでは、さまざまな意見をいただきました。ゲストはジャーナリストの大塚玲子さんです。PTAに関わる方なら、一度はお名前を目にしたことあると思えます。(笑)

誰もが参加したくなるきっかけになると思います。高崎市以外の方も是非ご参加ください！

(文)大澤博史

- 編集委員
- 高山英記(伊第二中)
 - 星野祝子(前第五中)
 - 大澤博史(高第一中)
 - 上原直也(宮一ノ宮小)
 - 石塚克也(太田東小)
 - 宮越 誠(藤岡中)
 - 大津和仁(吾高山中)
 - 植出麻美(利古馬牧小)
 - 齋藤祐一(小野上小)
 - 正田光生(桐野小)